

CASBEE®-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

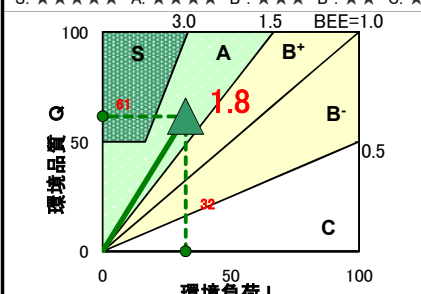
1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	浜松ホトニクス株式会社常光製作所	階数	地上5F
建設地	静岡県浜松市	構造	S造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	110人
地域区分	6地域	年間使用時間	1,875時間/年(想定値)
建物用途	事務所、工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2022年6月 予定	評価の実施日	2020年12月1日
敷地面積	4,873 m ²	作成者	伊藤 潤
建築面積	1,246 m ²	確認日	
延床面積	5,546 m ²	確認者	



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.8

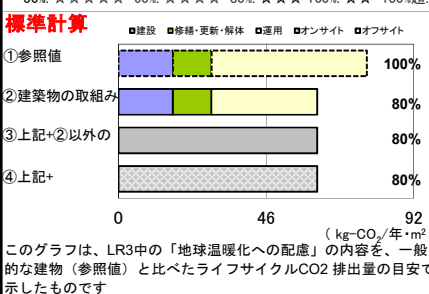
S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★



2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

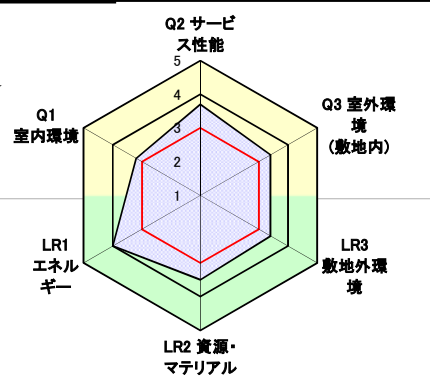
標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+



このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

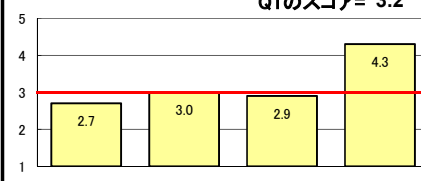
2-3 大項目の評価(レーダーチャート)



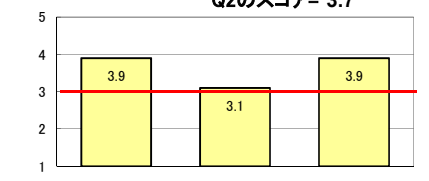
2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア= 3.4

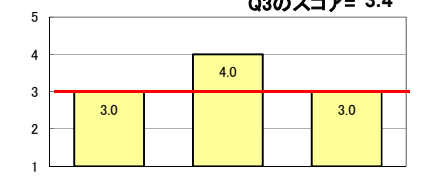
Q1 室内環境 Q1のスコア= 3.2



Q2 サービス性能 Q2のスコア= 3.7

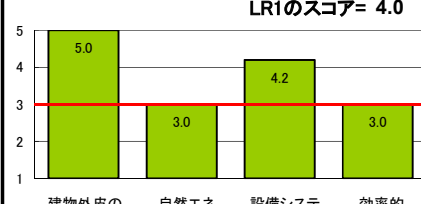


Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア= 3.4

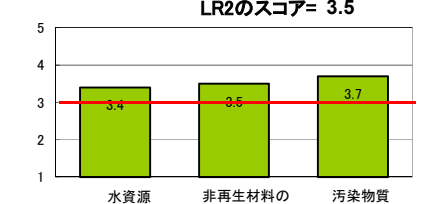


LR 環境負荷低減性 LRのスコア= 3.7

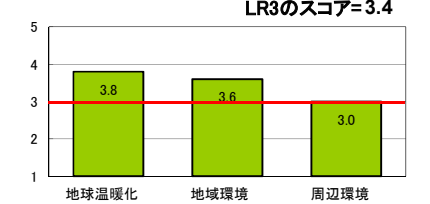
LR1 エネルギー LR1のスコア= 4.0



LR2 資源・マテリアル LR2のスコア= 3.5



LR3 敷地外環境 LR3のスコア= 3.4



3 設計上の配慮事項		
総合 持続可能な開発目標 (SDGs) 達成に貢献し、製造のクリエイティビティを高める「4つのコンセプト」により、光技術を全世界に発信し続ける生産拠点にふさわしい常光製作所 第5棟を提案します。 1. Flexibility-柔軟性-、2. Functionally-高機能-、3. Safety-安全安心-、		その他 特になし
Q1 室内環境 ・適切な照度を確保	Q2 サービス性能 ・十分なリフレッシュスペースを確保 ・メンテナンス性の高い材料を使用	Q3 室外環境(敷地内) ・設備バルコニーは、周囲から見えないよう道路際を避けて配置している ・既存建物と建物高さを合わせることで調和を保っている
LR1 エネルギー ・高効率空調機器、LED照明の採用	LR2 資源・マテリアル ・節水型衛生器具の採用 ・リサイクル材を採用	LR3 敷地外環境 ・敷地内に搬入ヤードを確保

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修・解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される



欄に数値またはコメントを記入

1. 建物概要						
建物名称	浜松ホトニクス株式会社常光製作所第5棟建設工事	BEE	1.8	BEEランク	A	★★★★

2. 重点項目への取組み度						
重点項目	得点 [※] /満点	取組み度	評価			
"ふじのくに地球温暖化対策実行計画"の推進 (Global Warming)	3.8	/5	ふつつ			
"災害に強いしずおか"の形成 (Disaster)	3.1	/5	ふつつ			
"しずおかユニバーサルデザイン"の推進 (Universal Design)	3.4	/5	ふつつ			
"緑化及び自然景観"の保全・回復 (Nature)	3.2	/5	ふつつ			
※対応するCASBEEのスコア(平均)を5点満点で表示します。(スコア1.0=1点、スコア5.0=5点)			評価 凡例	よい 4 点以上	ふつつ 3 点以上	がんばろう 3 点未満

3. 重点項目についての環境配慮概要		内訳対応項目					
各項目について配慮した内容を、該当する番号(①～)を示し記述してください。							
"ふじのくに地球温暖化対策実行計画"の推進 (Global Warming)		得点			3.8		
<ul style="list-style-type: none"> ■室内環境対策 (①室温制御/②昼光対策/③グレア対策/④部品・部材の耐用年数) <ul style="list-style-type: none"> ④耐久設計基準強度F_d=24N/mm² であり、計画供用期間として約65年 ④屋外露出ダクトに保温ラッキング(SUS)、有機系局所排気ダクトSUS ■室外環境(敷地内)対策 (⑤生物環境の保全と創出/⑥敷地内温熱環境の向上) ■エネルギー対策 (⑦建物外皮の熱負荷抑制/⑧自然エネルギー利用/⑨設備システムの高効率化/⑩効率的運用) <ul style="list-style-type: none"> ⑦⑨[BEI][BEIm]=0.68 ■資源・マテリアル対策 (⑪水資源保護/⑫非再生性資源の使用量削減/⑬汚染物質含有材料の使用回避) <ul style="list-style-type: none"> ⑪節水型衛生器具の採用 ⑪エコマークを取得したリサイクル材の採用 ⑫躯体と仕上りが容易に分別可能となっている ⑬ODP=0.01未満かつ、GWPが低い発泡剤を使用している ■敷地外環境対策 (⑭地球温暖化への配慮/⑮温熱環境悪化の改善) <ul style="list-style-type: none"> ⑭高断熱性、省エネルギー機器の採用 	Q-1	2	2.1	2.1.2	①	外皮性能	
	Q-1	3	3.1	3.1.3	②	昼光利用設備	
			3.2	3.2.1	③	昼光制御	
	Q-2	2	2.2	2.2.1	④	躯体材料の耐用年数	
			2.2.2	2.2.2	④	外壁仕上げ材の補修必要間隔	
		2.2.3	2.2.3	④	主要内装仕上げ材の更新必要間隔		
		2.2.4	2.2.4	④	空調換気ダクトの更新必要間隔		
		2.2.5	2.2.5	④	空調・給排水配管の更新必要間隔		
		2.2.6	2.2.6	④	主要設備機器の更新必要間隔		
		3	3.2	⑤	生物環境の保全と創出		
		3	3.2	⑥	敷地内温熱環境の向上		
		LR-1	1	⑦	建物外皮の熱負荷抑制		
			2	⑧	自然エネルギー利用		
			3	⑨	設備システムの高効率化		
			4	⑩	モニタリング		
			4.1	⑩	運用管理体制		
			4.2	⑩	運用管理体制		
		LR-2	1	⑪	節水		
			1.2	1.2.1	⑪	雨水利用システム導入の有無	
				1.2.2	⑪	雑排水等利用システム導入の有無	
			2	2.1	⑫	材料使用量の削減	
				2.1.2	⑫	既存建築躯体等の継続使用	
				2.1.3	⑫	躯体材料におけるリサイクル材の使用	
				2.1.4	⑫	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	
				2.1.5	⑫	持続可能な森林から産出された木材	
				2.1.6	⑫	部材の再利用可能性向上への取組み	
			3	3.1	⑬	有害物質を含まない材料の使用	
				3.2	3.2.1	⑬	消火剤
				3.2.2	⑬	断熱材	
				3.2.3	⑬	冷媒	
		LR-3	1	⑭	地球温暖化への配慮		
			2	2.2	⑮	温熱環境悪化の改善	
"災害に強いしずおか"の形成 (Disaster)		得点			3.1		
<ul style="list-style-type: none"> ■サービス性能対策 (⑯耐震・免震/⑰信頼性) <ul style="list-style-type: none"> ⑰非常用発電設備、無停電電源設備を備えている ⑰防水板の設置 ⑰通信手段の多様化、防水板の設置 ⑰ネットワーク機器用の無停電装置の設置 	Q-2	2	2.1	2.1.1	⑯	耐震性	
				2.1.2	⑯	免震・制振性能	
			2.4	2.4.1	⑰	空調・換気設備	
				2.4.2	⑰	給排水・衛生設備	
				2.4.3	⑰	電気設備	
				2.4.4	⑰	機械・配管支持方法	
				2.4.5	⑰	通信・情報設備	
"しずおかユニバーサルデザイン"の推進 (Universal Design)		得点			3.4		
<ul style="list-style-type: none"> ■サービス性能対策 (⑱機能性・使いやすさ/⑲心理性・快適性/⑳空間のゆとり) <ul style="list-style-type: none"> ⑲階高:4.2m ⑲壁長さ比率:0.82 ■室外環境(敷地内)対策 (㉑地域性・アメニティへの配慮) 	Q-2	1	1.1	1.1.3	⑱⑲	ユニバーサルデザイン計画	
		3	3.1	3.1.1	⑲	階高のゆとり	
				3.1.2	⑲	空間の形状・自由さ	
		Q-3	3	3.1	㉑	地域性への配慮、快適性の向上	
"緑化及び自然景観"の保全・回復 (Nature)		得点			3.2		
<ul style="list-style-type: none"> ■室外環境(敷地内)対策 (⑳生物環境の保全と創出/㉑まちなみ・景観への配慮/㉒敷地内温熱環境の向上) <ul style="list-style-type: none"> ㉒設備バルコニーは、周囲から見えないよう道路際を避けて配置している ㉒既存建物と建物高さを合わせることで調和を保っている ■敷地外環境対策 (㉓温熱環境悪化の改善) 	Q-3	1	⑳	生物環境の保全と創出			
		2	㉑	まちなみ景観への配慮			
		3	3.2	㉒	敷地内温熱環境の向上		
		LR-3	2	2.2	㉓	温熱環境悪化の改善	